

平成二十九年 企画展

# 慈願寺の名宝



八尾市指定文化財 絹本著色聖徳太子・親鸞・存如連座像  
寛正2年(1461)8月1日 蓮如裏書



八尾市指定文化財 絹本著色慈願寺法円像  
文明13年(1481)12月7日 蓮如裏書

**戦国時代の宝物・古文書一挙公開** (会期中、一部展示替えを致します。)

会期 平成29年6月17日(土)～8月27日(日)

休館日 火曜日及び7月19日(水)、8月14日(月)は休館

時間 9時～17時(但し、入館は16時30分まで)

観覧料 大人200円 大・高校生100円(団体は20名以上半額)

減免 中学生以下、65歳以上、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及び介助者、並びに学校園行事者の引率者



メルマガ配信中!

## 八尾市立歴史民俗資料館

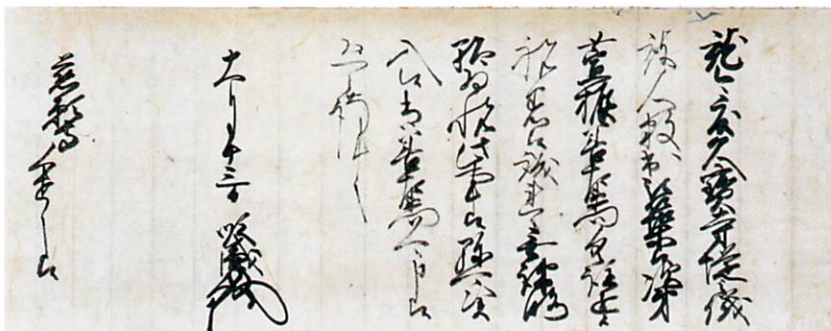
〒581-0862 八尾市千塚3丁目180-1 ☎072-941-3601 FAX072-941-6193

URL://www17.plala.or.jp/yaorekimin/ E-mail:yao-muse@white.plala.or.jp

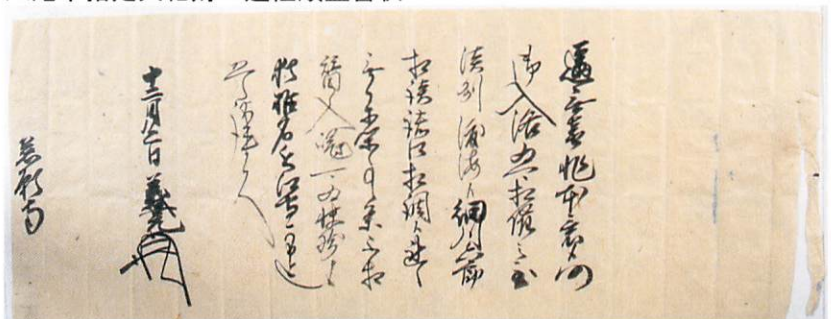
(ホームページアドレス、メールアドレスが変更となりました。フェイスブック、ツイッター始めました。)

慈願寺は、親鸞聖人の弟子信願房が鎌倉時代後期に河内国渋川郡久宝寺村に創建した久宝寺村道場が始まりで、河内のなかで最も古い真宗寺院のひとつとされています。戦国時代初めには、本願寺蓮如が久宝寺村の慈願寺を訪れ、西証寺(のちの顕証寺)を創建しました。その後、久宝寺村は寺内町に発展しました。また、近世初頭、本願寺は東西に分派し、久宝寺の一部の人々と慈願寺は、八尾に移転して八尾寺内町を建設しました。このふたつの寺内町は、八尾の中核をなし、今日の八尾市の母体となりました。

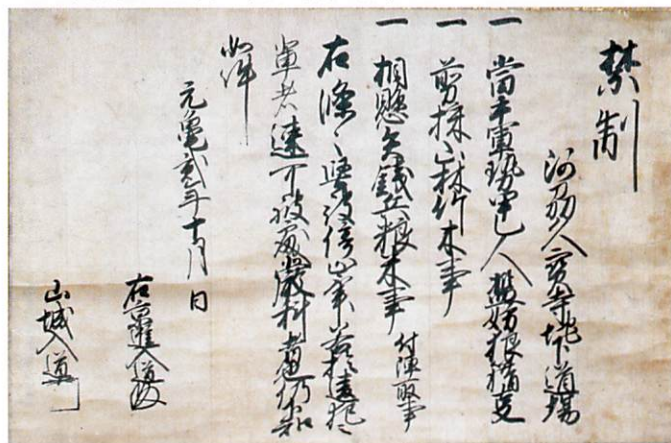
今回、慈願寺の所蔵している文化財のうち、本願寺蓮如以来、代々から下賜された多数の宝物や、畿内の戦国武将から得た多くの古文書を紹介致します。



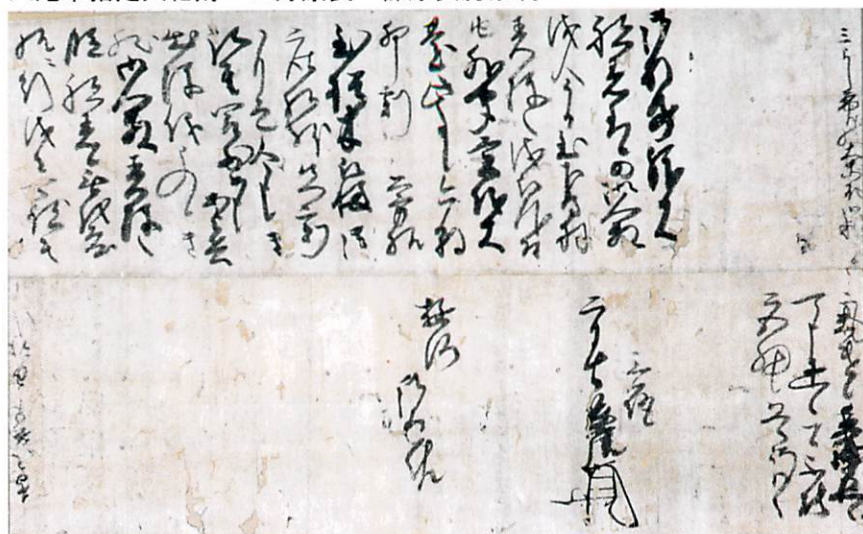
八尾市指定文化財 遊佐順盛書状



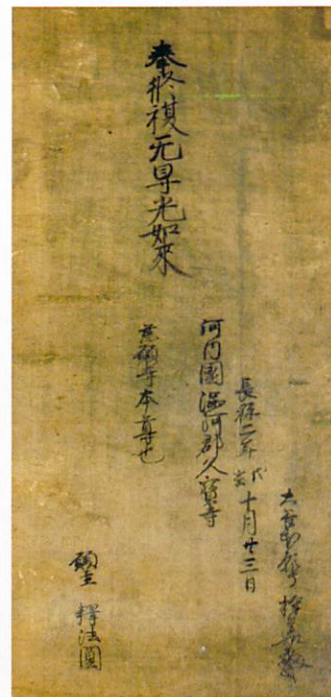
八尾市指定文化財 畠山義堯判物



八尾市指定文化財 三好康長・篠原長房禁制

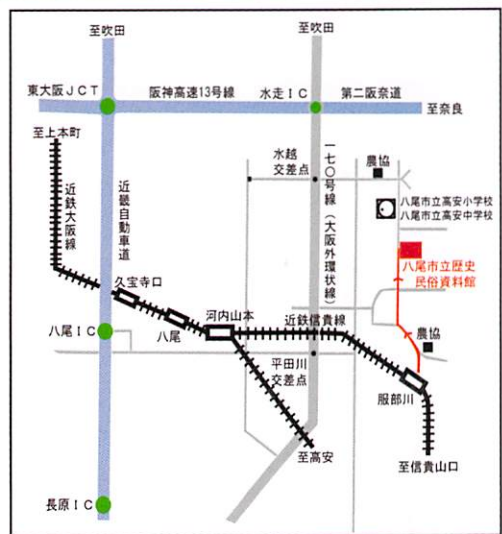


八尾市指定文化財 三好長慶折紙



八尾市指定文化財  
絹本著色十字名号  
同裏 蓮如裏書

◆ミュージアムトーク  
7月9日(日)「慈願寺の古文書」  
8月6日(日)「慈願寺と蓮如上人」  
担当：小谷利明(当館館長)  
いずれも午後1時からです。  
資料代：無料(但し、観覧料が必要)



近鉄信貴線服部川駅下車徒歩8分